

女性協拡大常任委員会 関東地連からの報告



女性協議会

●女性協
URL
<http://www.minpororen.jp/women/index.html>

前号(八七号)で掲載した女性協拡大常任委員会(3月10日開催)報告の続きとして、関東地連の報告をお伝えします。

◇日本テレビ
春闘では、育児時間の拡充、管理職教育、育児休業など無給期間の支援金支給(八万円/月)、妊娠による時短取得を理由に評価を下げる、望まない異動をする等の差別を行わないこと、などを要求内容に盛り込む。

◇テレビ朝日
最近、育児中または育児

する充実した会となつていく。その他、技術関係部署の「授乳(わさ)の会」、シニア社員「ベテランの会」なども開催し、意見交換がなされている。

育児中、妊娠中の女性が、増えたこともあり、育児と会社の両立に関して個別の状況下における問題点が多くなつてきている。それぞれ解決に向けた動きが、社員数の減少を食い止めるためにも必要である。(現在の社員数約一〇〇人中、女性社員は約三〇人。女性社員のうち三〇人以上が、現在育児もしくは妊娠中)

※今回の拡大常任委員会の後、3月22日の団体交渉で、不妊治療に専念する

ために、通算して一年限度で本人の希望する期間、休業を認める。不妊治療休業制度の新設と「育児休業制度の充実について」として、育児休業中の社員に社内情報把握と健康診断のため三ヶ月に一度来社し、ワークマササポート制度のスタッフ並びに所屬長と面談を行えるようにする。その際、必要者には六本木ヒルズ内託児所の利用を認める、との回答あり。

◇テレビ東京
来年度から育児時短の取得が就学時まで延長されることとなったが、三歳から就学時までの時短に関しては時短分の賃金カットがされることになった。4月からこの賃金カットありの時短に突入する報道局勤務の女性は勤務シフト上、時短の時間以上の残業が発生している。この女性管理職のため残業代は支払われず、4月からは、所定の労働時間以上働いているにも関わらず、時短を取っているため賃金カットされることとなる。時短に対するペナルティであるとして、当該局や人事と組合が交渉したが、当該局は「本人承諾

済みのシフトなので時間外の発生はやむなし」としている。組合は、賃金体系の問題と考え、今後も人事と交渉を続けると報告(※参照)。試験的に裁量労働の導入が行われているが、労働時間の実態とかけ離れていることから、今執行部のうちに解決策を検討、改善する。また、オーバーワークに対する五日間の強制休暇がきちんと取れていないケースが見受けられ、制度が実質的なものになるよう働きかけていく。

※今春闘で就学時までの育児時短を賃金カットなしで取得できるようになった。

しきや苦悩、「仕方ない」でいいのでしょうか?この根深いテーマを、旅の恥は外村なりと語り合います。

◆第四分科会「子どもが危ない」メディアが子どもありとあらゆる情報が洪水のように溢れる現代社会。大人だけでなく子どもにもメディアからの情報は浴びせられます。近年「キレる」子どもが信じられないような罪を犯して世間を驚かせます。なぜこういうことが起るのか?現在研究調査が進められていく子どもとメディアの関連性について、NPO法人「子どもとメディア」代表理事の清川輝基さんと一緒に考えましょう。

◆第五分科会「視聴者主役の番組作り」市民メディアの魅力を「現代を説き解くキーワード」は、「多様な価値観」双方向性「民主的な議論」もつて公共空間の構築」だと考えられます。現在これを実践しているのが、全国に次第に広がっている「市民メディア」でも、2011年7月にデジタル放送に完全移行する地上波

テレビこそ、実はこの特性を大いに活かすことができるのです。この分科会では、市民メディアの取組の取り組みを具体的に紹介しながら、地上波テレビに今後期待される一面に触れたい。

◆第六分科会「ゲームなどで学ぶ」自分を変える・自分に適した投資「自分のことは自分で守る」ちょっとしたためになる女のお金の話」

年金も当てにならない。いったいいつまで働けばいいの?なんだか不安な将来に向けて今から実践できる、あるいは知っておきたいお金の話。

◆第七分科会「色鉛筆で自分探し」色の中から自分自身にエネルギーを補給!仙台在住のカラーセラピストによるカラーセラピー体験!あなたの心と身体が必要とし、あなたの味方になってくれる色を教えてください。

♪♪♪

「女性の集い」への参加申し込みは、女性協議会のホームページからどうぞ!締め切りは4月27日です。また、女性協議会の掲示板も更新しましたので、そちらもご覧ください。

分科会が決定、内容は?

第44回全国女性の集いin松島

5月19、20日に宮城県・松島で行われる「第四回全国女性の集い」の分科会が決まりました。選りすぐりの分科会は全部で七つです。以下に内容をお知らせします。

♪♪♪

◆第一分科会「戦後六〇年以上たつて語られるもうひとつの戦争」戦争が終わった後も戦争を続けた中国残留兵二人の戦争の記憶と「はつ」

映画「蟻の軍艦」に出演されたお二人金子傳さん、奥村和さんをお迎えして、対談形式で話を伺います。

♪♪♪

◆第二分科会「アサティ」ブネス紹介講座「相手も自分も大切にしたいコミュニケーション」

こんなことはありませんか?もっと素直に自分を表現できなかったらいいのに!言っても伝わらない。何でわかってくれないの?どうやって頭ごなしに怒鳴ってしまおう。何か言っても相手は傷つ

◆第三分科会「放送業界男女不平等物語」本音で言わせて「オンナの品格」どこかの大臣の問題発言に激しく突っ込みを入れたら、放送では偉そうに言っているけど、同じようなことを上司が言ったらどうでしょう?ご存じのとおり、民放の実態は「男女平等」とは程遠いです。「女性が働き続けること」の難

しきや苦悩、「仕方ない」でいいのでしょうか?この根深いテーマを、旅の恥は外村なりと語り合います。

◆第四分科会「子どもが危ない」メディアが子どもありとあらゆる情報が洪水のように溢れる現代社会。大人だけでなく子どもにもメディアからの情報は浴びせられます。近年「キレる」子どもが信じられないような罪を犯して世間を驚かせます。なぜこういうことが起るのか?現在研究調査が進められていく子どもとメディアの関連性について、NPO法人「子どもとメディア」代表理事の清川輝基さんと一緒に考えましょう。

◆第五分科会「視聴者主役の番組作り」市民メディアの魅力を「現代を説き解くキーワード」は、「多様な価値観」双方向性「民主的な議論」もつて公共空間の構築」だと考えられます。現在これを実践しているのが、全国に次第に広がっている「市民メディア」でも、2011年7月にデジタル放送に完全移行する地上波